

2017年7月25日

お取引先 各位

株式会社 エス・ワイ・エス
代表取締役社長 杉田 真志

株式会社エイチ・アイ・エスとの資本提携について

拝啓 貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、宿泊施設の客室“直販”を支援させて頂く弊社の OPTIMA S、DRS 等のサービスのご利用頂きまして誠に有り難うございます。

さて、弊社はこの度、旅行会社大手の[株式会社エイチ・アイ・エス（以下、H.I.S.）](#)と資本提携を行い、弊社で培って参りました客室直販支援事業を今後益々加速させていくこととなりましたことを報告申し上げます。

弊社では、宿泊施設様が客室直販を行うために必要なインターネット予約管理システムの OPTIMA S、さらに客室在庫を宿泊比較サイトに掲載し、ユーザーからの宿泊施設自社サイトの予約ページへの直接アクセスを増大させる DRS (Direct Reservation System) を提供して参りました。昨今のオンライン宿泊業界は、インバウンド旅客増加を背景として海外オンライン旅行代理店 (OTA) の攻勢は激しく、弊社としては、インバウンド旅客取り込みへの対応、AI、スマートフォンを活用したシステムの導入で宿泊施設様への直販支援を更に強化する為、戦略的な事業拡張を検討しておりました。一方、H.I.S. は旅行業に加えて長崎ハウステンボスの黒字化を達成。そして、ホテル事業、運輸事業、発電事業、ロボット事業に参入し、旅行会社から観光関連オペレーターへと事業領域の拡大を図る未来戦略を描いています。宿泊施設の客室販売チャンネルが多様化し、旅行会社経由の客室販売だけではなく、国内外の旅行客に対して積極的に直販を行う時代が到来しており、宿泊施設関連事業においては、自らのホテルの本格展開と並行して直販支援事業の立ち上げを模索していました。直販支援の戦略的拡張を目指す弊社と、従来型の旅行会社事業からの昇華を目指す H.I.S. の未来構想が合致し、戦略的パートナーとして H.I.S. と資本提携を行うこととなりました。第一弾として H.I.S. が展開してきた国内宿泊施設様向け OTA 事業を、弊社の直販支援事業に転換致します。

なお、資本提携関係につきましては、弊社は H.I.S. からの経営の独立性を保ち、ガバナンス強化を構築して事業を展開して参ります。

そして、H.I.S. の国内・海外の観光事業における知見を得て、代表取締役杉田真志の下、社員も変わらぬ体制で宿泊施設様の直販推進に貢献する所存です。

皆様の変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具